

卓話

「競走馬の血統・識別認識」

小菅 誠



第902回 例会No. 41 平成 26年5月15(木) 晴

- ローターソング 「我等の生業」
- 出席報告 会員46名中24名出席
- 出席率 57.14% 出席計算人数42名
- 修正出席率 5月1日 休会
- スピーカー 立石ゆかりさん

会長挨拶

皆さんこんにちは。日中は少し汗ばむ季節になりました。沖縄地方はもう梅雨入りです。

きょうは新会員卓話です。立石ゆかりさん、後程よろしくお願ひします。

5月13日に岡山丸の内ロータリークラブより5/7の理事会にて「友好クラブ締結に向けて」の件で、正式に承認されたとのメールをいただきました。友好クラブ締結に向けて進めていきましょう。

さて車の安全対策でパッシブ・セイフティ、アクティブ・セイフティの2つがあります。前者は衝突したとき乗員を守るためのボディ強度、エアバッグなどですが、後者についての考え方が大きく変わってきています。

以前は操縦安定性、ブレーキ、ハンドリング、ボディ剛性など技術開発が進められていましたが、最近ではコンピューターなど電子技術の発達によって、危険な状態に陥らないように人間の能力をはるかに上回った操作が車自体で出来るようになってきました。

例えば衝突する前にブレーキをかける自動ブレーキ、ハンドルで車自体が障害物をよけるなど、その先には自動運転が実現するのもそんなに先ではありません。そのためには法律、インフラの整備が必要になります。自動運転が実用になるのは高速道路のトラック輸送になると言われています。これは何台もタンデムで走行すると空気抵抗が少なくなり(F1レースなどで言われるスリップストリームという現象を利用して)燃費向上でき、また人



を介さないため、長時間運転の疲労のため居眠り、わき見、休憩そして何よりも人間のミスによる事故の心配がないので安定した運行が可能です。

自動車事故をゼロにするには、究極はこの自動運転によってできると思います。これの実現のためにスロットル・バイ・ワイヤー、シフト・バイ・ワイヤー、ブレーキ・バイ・ワイヤー、ステアリング・バイ・ワイヤー、そしてカメラ、レーダーなどセンサー、コンピューター、制御ソフトの進歩が著しく進んでいます。

今現在、知らないうちに自動車の運転を補助するためにアクセル… 踏み方に、滑りやすい所でトラクションコントロール

ブレーキ… ABS スタビリティコントロール

ステアリング… 低速時の可変バリアブルレシオ(曲がりやすくする)

バックモニター、自動縦列駐車 などなどいろいろな安全装置がついて運転がうまくなったように錯覚するほどです。しかしそうすると、コンピューターで制御する部分が多くなってもうディーラーでしか整備ができなくなり、自分で車をいじったり、町の修理屋さんでの整備はできなくなって、古い車のみが趣味で楽しめることになるかも知れませんね。

5月15日ニコBOX

●本日の卓話は「新会員卓話」です。立石ゆかりさん、よろしくお願ひ致します。 西川会長、加藤幹事、藤田、永井、渡邊、安江、岩田、松尾、若原、山崎、田中、横田、十文字(敬称略)

川原さん 安藤君への感謝。昨日は素晴らしい名画の鑑賞にお招き頂き、疲れた心の癒しになりました。

安藤さん いよいよ来週15日からミッドランドで絵画展が始まります。2度と見られない、ゴッホ・ミレー・ルノワールなどなど展示してありますので、是非見に来て下さい。

立石さん 新会員卓話、とても緊張しています。よろしくお願ひします。

●春の健康感謝ニコニコ Day

長谷川、河原、水野、大岩、矢野(敬称略)

本日合計 43,000円

新会員卓話

「自己紹介」

立石ゆかり

